

2022年3月期 第1四半期決算

決算説明会

2021年7月28日

株式会社 トクヤマ



2022年3月期 第1四半期決算のポイント

- 堅調な半導体関連製品販売や、輸出を中心としたコロナ影響の減少、塩ビモノマー市況の上昇などにより、対前年同期比で増益
- さらに販売価格転嫁などの施策を実施することで、原燃料価格上昇によるコスト増に対応。
期首に設定した通期業績予想達成に向けて引き続き注力
- 「中期経営計画2025」達成に向け、成長事業を中心とした設備投資や研究開発を着実に実施

CONTENTS

- ① 2022年3月期 第1四半期決算
- ② 2022年3月期 業績予想
- ③ トピックス
- ④ 補足資料

① 2022年3月期 第1四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析



1. 決算概要

(億円)

	2021年3月期 第1四半期 収益認識基準適用：無	2022年3月期 第1四半期 収益認識基準適用 上段：有、下段：無	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	706	674	△31	△4	塩ビ関連製品海外市況上昇 半導体関連製品の販売堅調
		789	+83	+12	
営業利益	66	74	+8	+13	塩ビモノマー海外市況上昇 半導体関連製品の販売堅調
経常利益	66	79	+12	+18	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 四半期純利益	52	49	△2	△5	税金費用の増加
1株当たり 四半期純利益 (円)	74.94	68.65	-	-	-
為替 (円/\$)	108	109	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	25,500	47,900	-	-	-

1. 決算概要

(億円)

	2021年3月末	2021年6月末	増 減	主要な変動要因
総資産	3,867	3,938	+70	設備投資に伴う固定資産の増加
自己資本	1,985	2,009	+24	親会社株主に帰属する当期純利益の積み上げ
自己資本比率	51.3%	51.0%	△0.3ポイント	-
有利子負債	984	959	△24	長期借入金の減少
D/Eレシオ	0.50	0.48	△0.02	-
ネットD/Eレシオ*	0.07	0.05	△0.02	-
1株当たり純資産 (円)	2,758.37	2,791.89	-	-

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比) (億円)

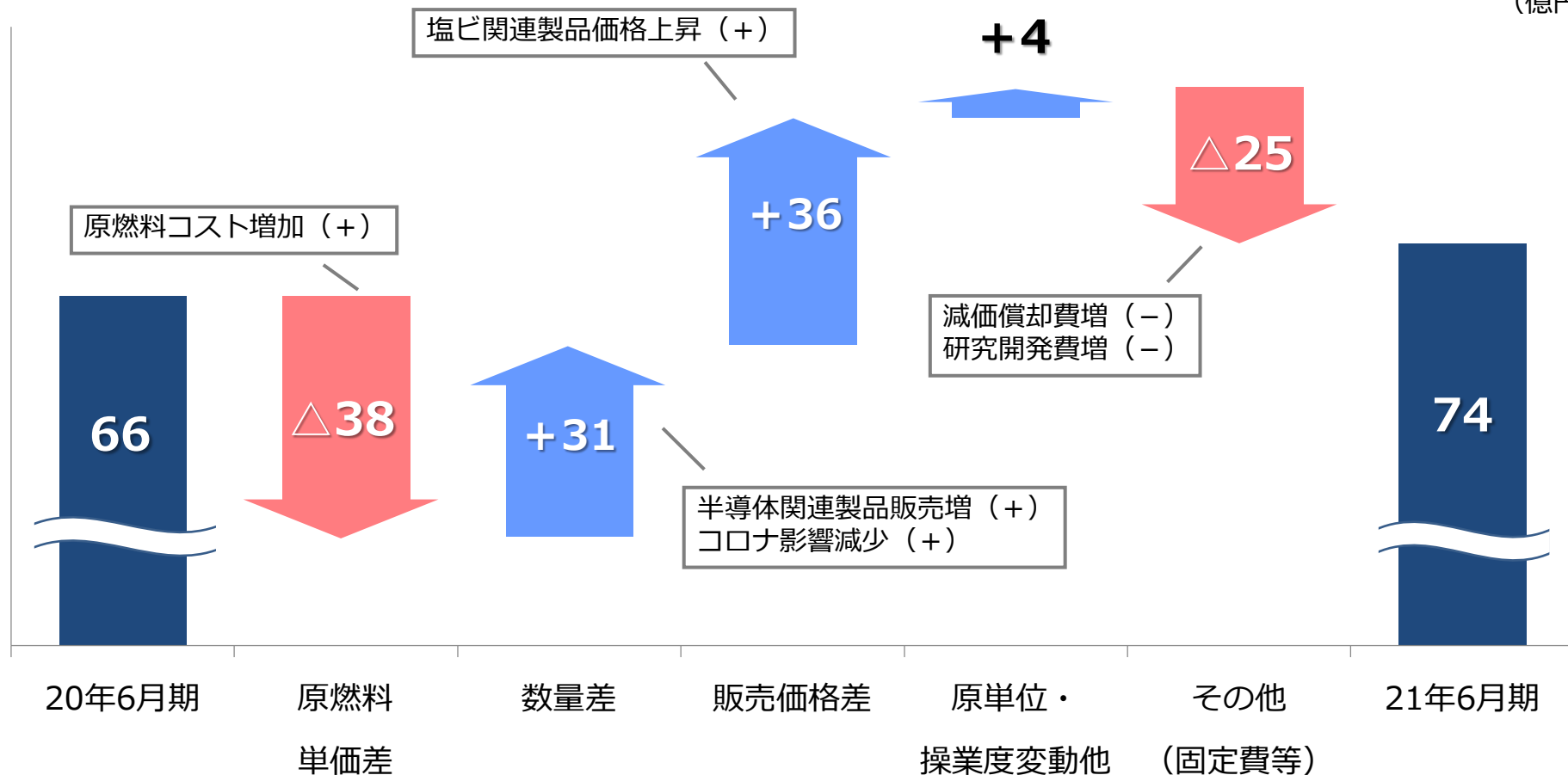
	2021年3月期 第1四半期		2022年3月期 第1四半期		増 減			
	収益認識基準適用：無		収益認識基準適用 上段：有 下段：無		売上高	%	営業利益	%
	売上高	営業利益	売上高	営業利益				
化成品	188	24	240	40	+51	+27	+16	+69
			243		+54	+29		
セメント	197	14	122	5	△75	△38	△8	△60
			228		+31	+16		
電子材料	134	15	165	21	+30	+23	+6	+42
			166		+31	+23		
ライフサイエンス	67	8	74	11	+7	+11	+2	+34
			74		+7	+11		
環境事業	20	△1	22	△1	+1	+9	△0	-
			23		+3	+17		
その他	190	14	78	8	△111	△59	△5	△37
			131		△58	△31		
計	799	73	704	85	△95	△12	+11	+16
			868		+69	+9		
セグメント間 消去・全社費用	△93	△7	△29	△10	+64	-	△3	-
			△79		+14			
連結決算	706	66	674	74	△31	△4	+8	+13
			789		+83	+12		

3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

要因別

(億円)



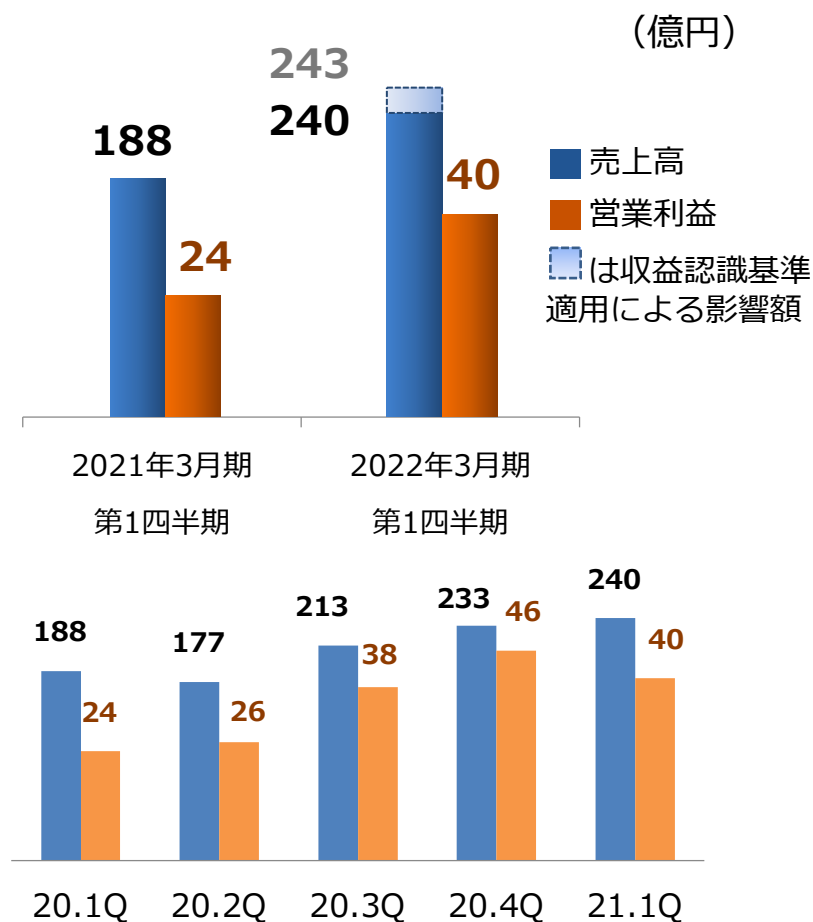
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

化成品

増収増益

定性情報



(苛性ソーダ)

- ・コロナ影響により減少していた販売数量は回復基調にあるものの、原燃料価格の上昇で製造コストが増加したことにより減益

(塩ビモノマー)

- ・輸出価格が上昇したことにより増益

(塩ビ樹脂)

- ・原燃料価格の上昇で製造コストが増加したものの、価格是正が進んだことにより前年同期並みの業績

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

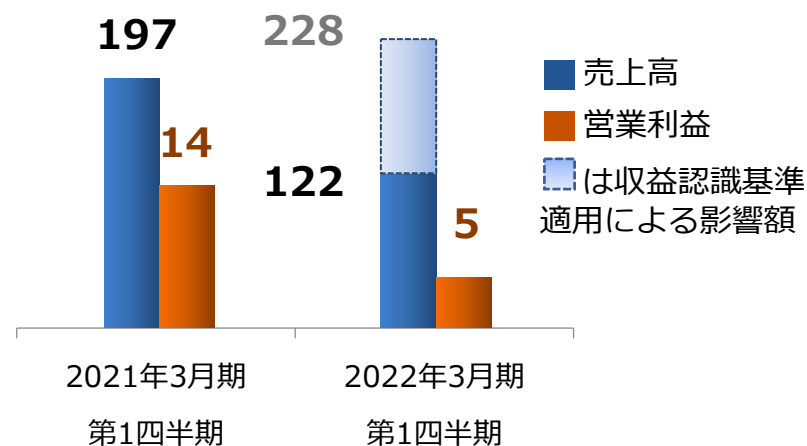
(前年同期比)

セメント

減収減益

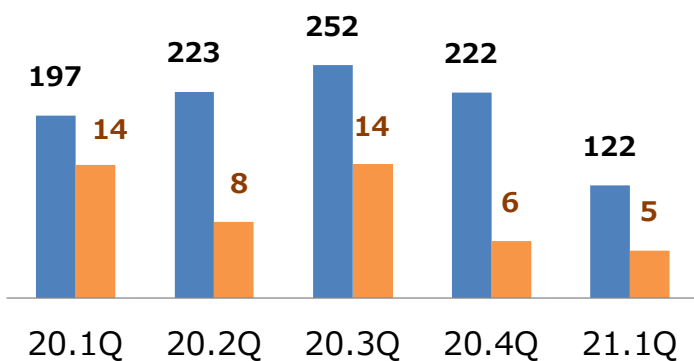
定性情報

(億円)



(セメント)

- 出荷は前年同期並みだったものの、原料価格の上昇で製造コストが増加したことにより減益



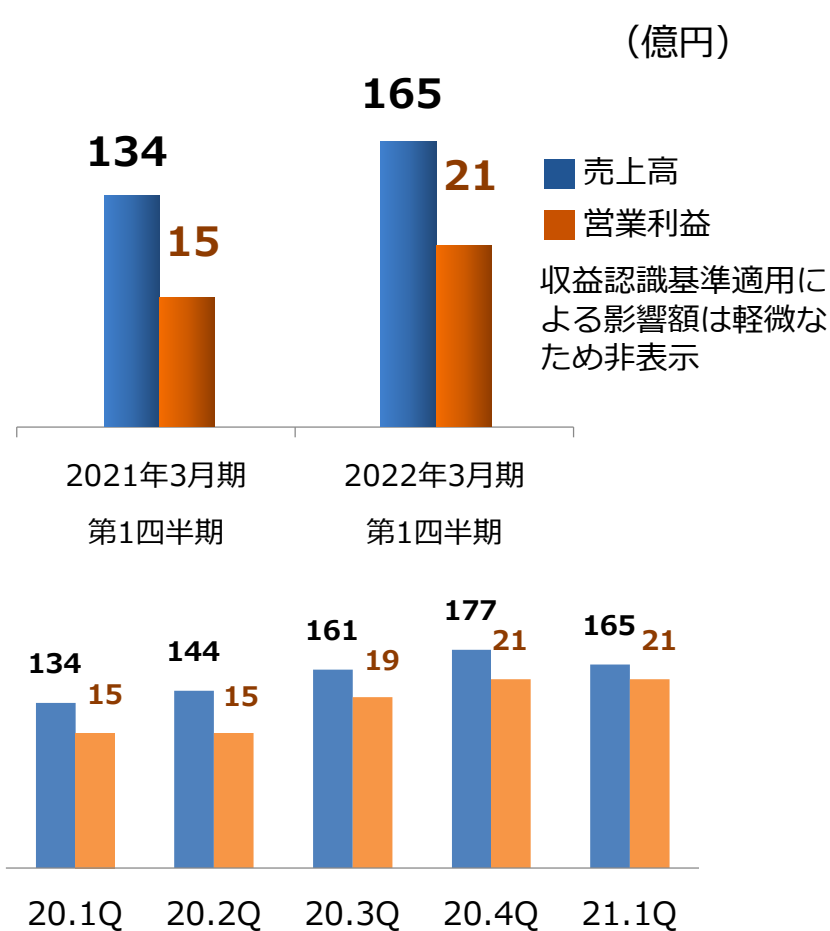
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

電子材料

増収増益

定性情報



(半導体向け多結晶シリコン)

- ・ 5Gの導入やリモートワークの増加を背景に販売が堅調に推移し増益

(ICケミカル)

- ・ 海外向けを中心として販売数量が増加したものの、原料価格の上昇等により減益

(乾式シリカ)

- ・ 半導体用研磨材用途を中心に販売数量が増加し増益

(放熱材)

- ・ 販売数量は堅調に推移したものの、先進技術事業化センターの研究開発費の増加等により前年同期並みの業績

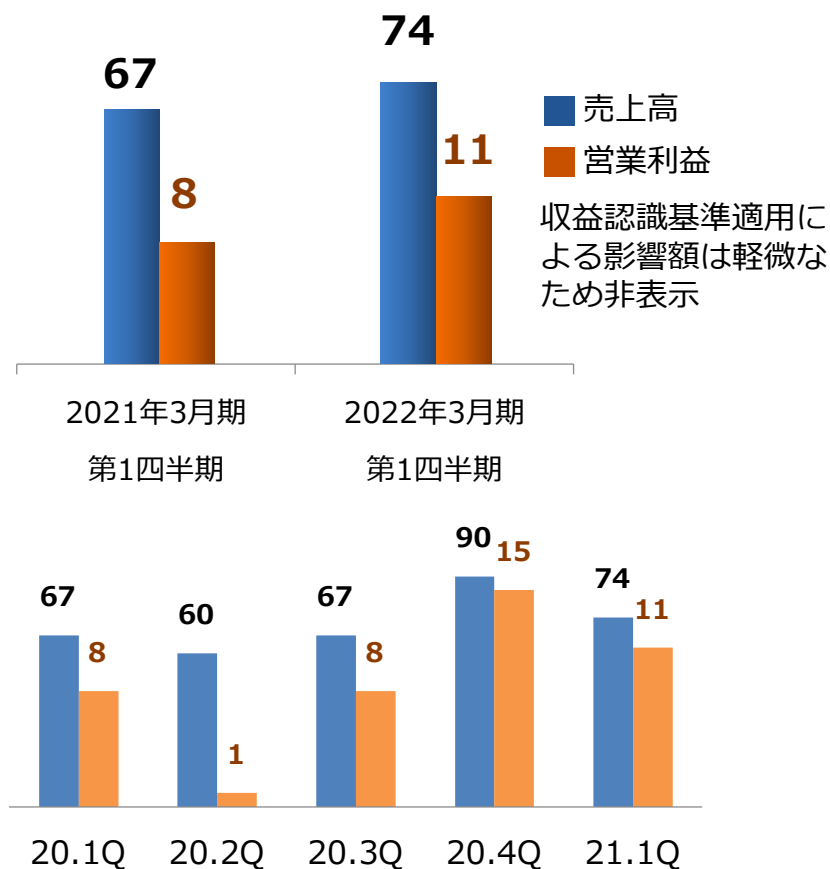
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

ライフ
サイエンス

増収増益

(億円)



定性情報

(プラスチックレンズ関連材料)

- ・ コロナ影響から減少していたメガネレンズ用フォトクロミック材料の欧米向け出荷の復調により増益

(歯科器材)

- ・ コロナ影響から減少していた欧米向け出荷の復調により増益

(医療診断システム)

- ・ 臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの販売が減少し減益

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

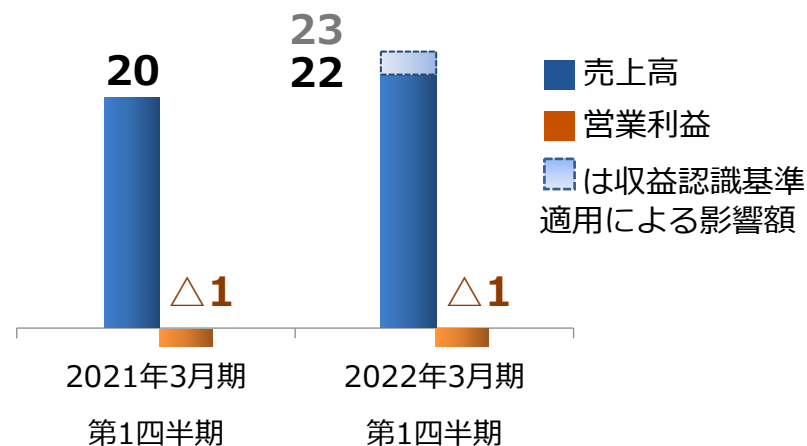
(前年同期比)

環境事業

増収赤字拡大

定性情報

(億円)

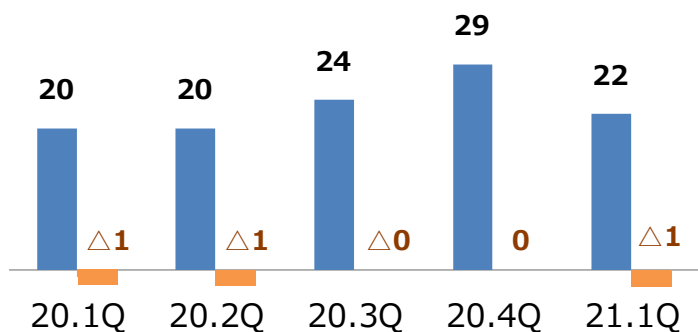


(イオン交換膜)

- 海外案件を中心に出荷が堅調に推移し、前年同期並みの業績

(樹脂サッシ)

- 住宅着工数の推移が堅調だったことにより、前年同期並みの業績



② 2022年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想



1. 業績予想

'21/4/28公表値を据え置き

(億円)

	2021年3月期 実績 収益認識基準適用：無	2022年3月期 予想 収益認識基準適用 上段：有、下段：無	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,024	2,710	△314	△10	コロナ影響改善 半導体関連製品拡販 石化製品の販売価格上昇
		3,140	+116	+4	
営業利益	309	260	△49	△16	先行投資の増加 原燃料コスト増加
経常利益	307	260	△47	△16	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 当期純利益	245	220	△25	△10	経常利益の減少
1株当たり 当期純利益 (円)	351.11	305.62	-	-	-
為替 (円/\$)	106	1Q実績：109	-	-	-
		2~4Q前提：110	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	31,200	1Q実績：47,900	-	-	-
		2~4Q前提：49,500	-	-	-

2. セグメント別業績予想

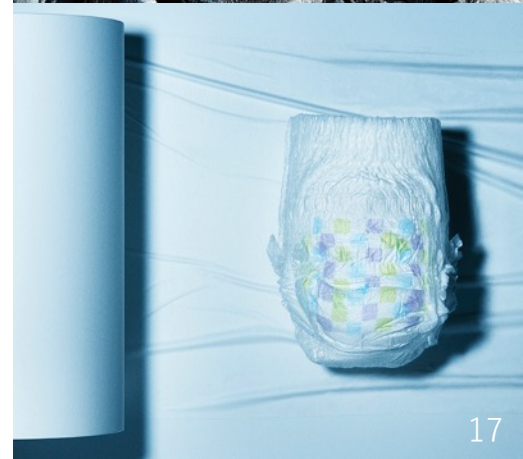
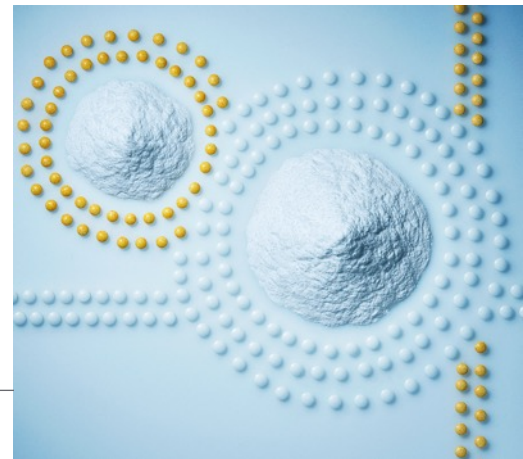
'21/4/28公表値を据え置き

(億円)

	2021年3月期 実績		2022年3月期 予想		増 減			
	収益認識基準適用：無		収益認識基準適用					
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	813	135	900	135	+86	+11	△0	△1
			913		+99	+12		
セメント	895	43	530	30	△365	△41	△13	△32
			911		+15	+2		
電子材料	618	71	685	50	+66	+11	△21	△30
			688		+69	+11		
ライフサイエンス	286	34	310	40	+23	+8	+5	+14
			312		+26	+9		
環境事業	95	△3	110	0	+14	+15	+3	-
			114		+18	+19		
その他	623	56	330	50	△293	△47	△6	△12
			516		△107	△17		
計	3,334	339	2,865	305	△469	△14	△34	△10
			3,456		+121	+4		
セグメント間 消去・全社費用	△310	△30	△155	△45	+155	-	△14	-
			△316		△6			
連結決算	3,024	309	2,710	260	△314	△10	△49	△16
			3,140		+116	+4		

③ トピックス

1. 半導体関連製品の状況

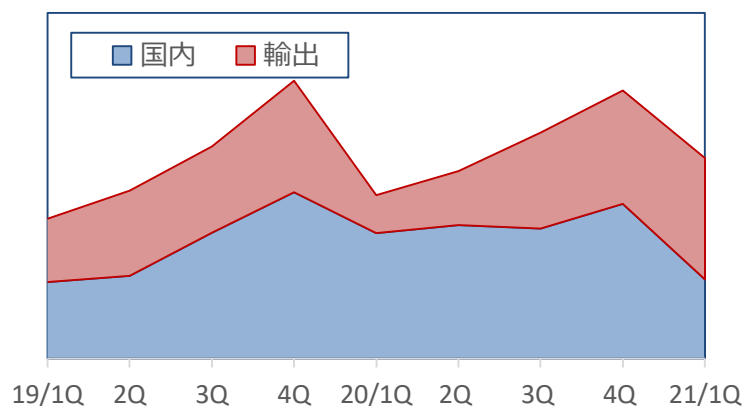


③ トピックス

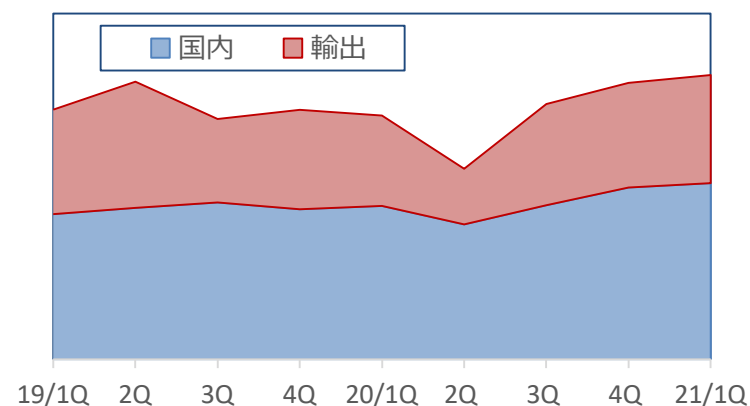
1. 半導体関連製品の状況

- 2019年度の半導体市場の踊り場を脱して、足元のテレワークの普及、5G導入などを背景に好調・拡大を維持

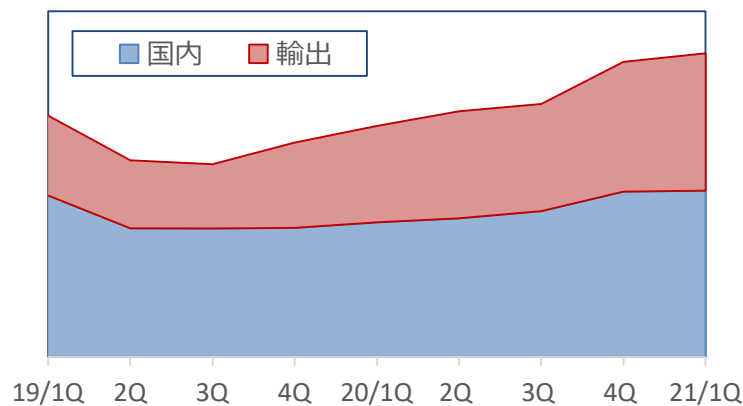
・多結晶シリコン



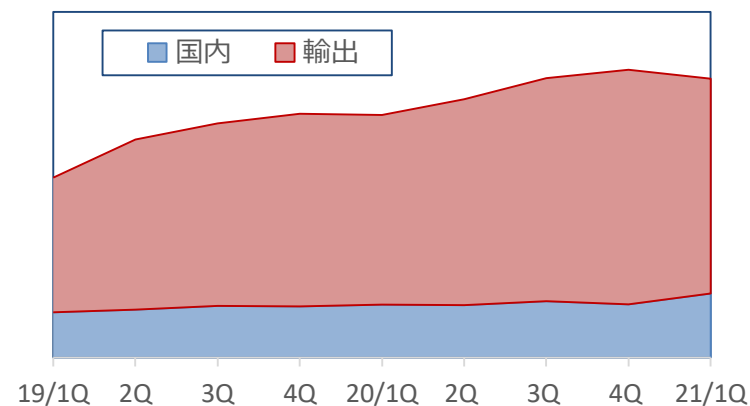
・乾式シリカ



・窒化アルミニウム粉末



・半導体用高純度IPA



もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）
2. 業績推移



1. 連結財務諸表（要約）

損益計算書

（億円）

	2021年3月期 第1四半期 収益認識基準適用：無	2022年3月期 第1四半期 収益認識基準適用：有	増減	
			金額	%
売上高	706	674	△31	△4
売上原価	483	432	+51	+11
販管費	156	167	△11	△8
営業利益	66	74	+8	+13
営業外損益	0	4	+3	-
経常利益	66	79	+12	+18
特別損益	△3	△1	+1	-
税前三半期純利益	63	77	+14	+22
法人税等	8	27	△19	△231
非支配株主利益	3	0	+2	+85
親会社株主に帰属する 四半期純利益	52	49	△2	△5

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

1. 連結財務諸表（要約）

貸借対照表

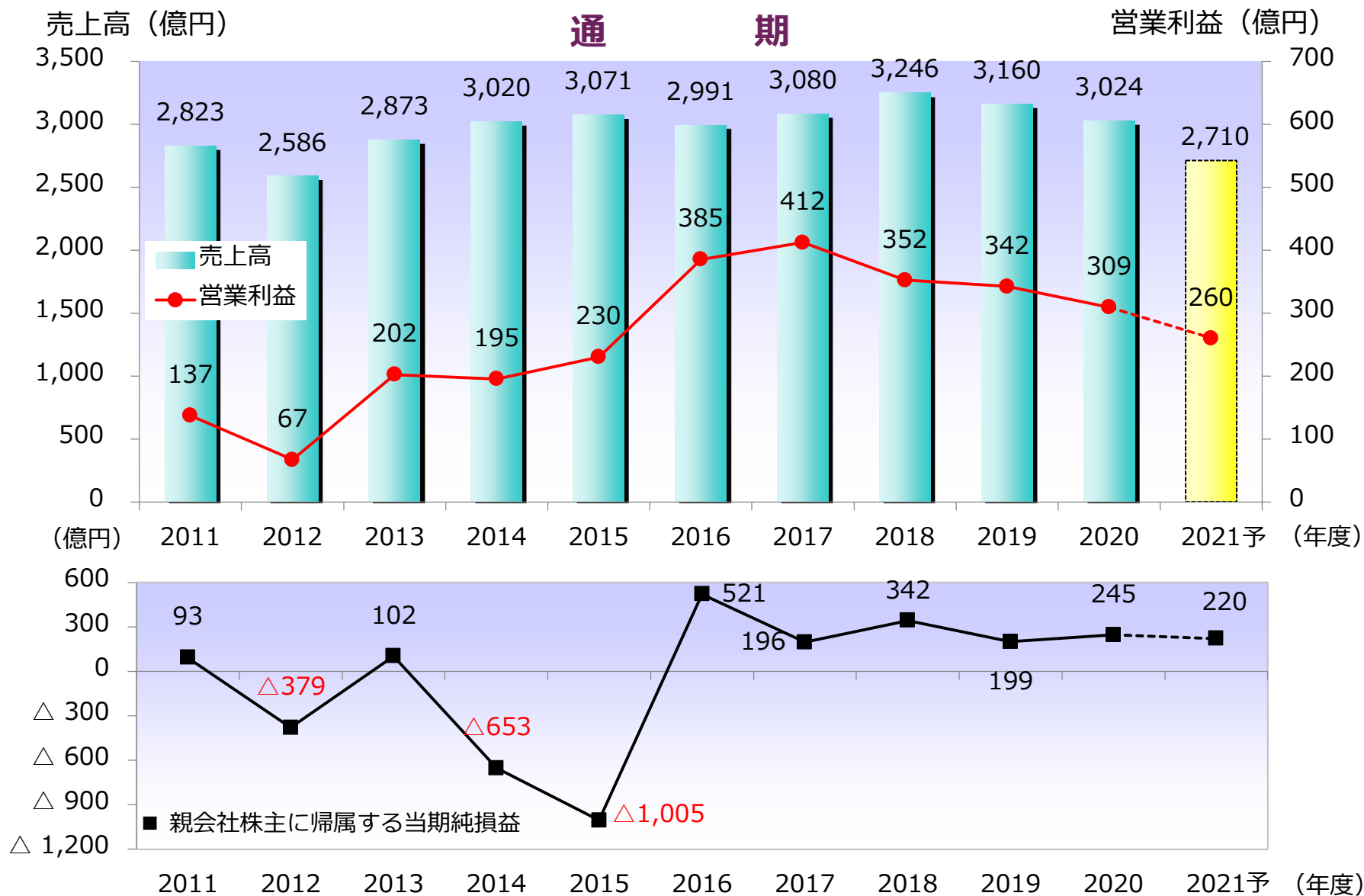
（億円）

	2021年3月末	2021年6月末	増減	
			金額	%
資産合計	3,867	3,938	+70	+2
流動資産	1,997	2,011	+13	+1
有形固定資産	1,240	1,295	+55	+4
無形固定資産	18	18	△0	△1
投資その他の資産	611	612	+1	+0

	2021年3月末	2021年6月末	増減	
			金額	%
負債合計	1,815	1,846	+30	+2
流動負債	833	949	+116	+14
固定負債	982	896	△85	△9
純資産合計	2,052	2,091	+39	+2

④ 補足資料

2. 業績推移

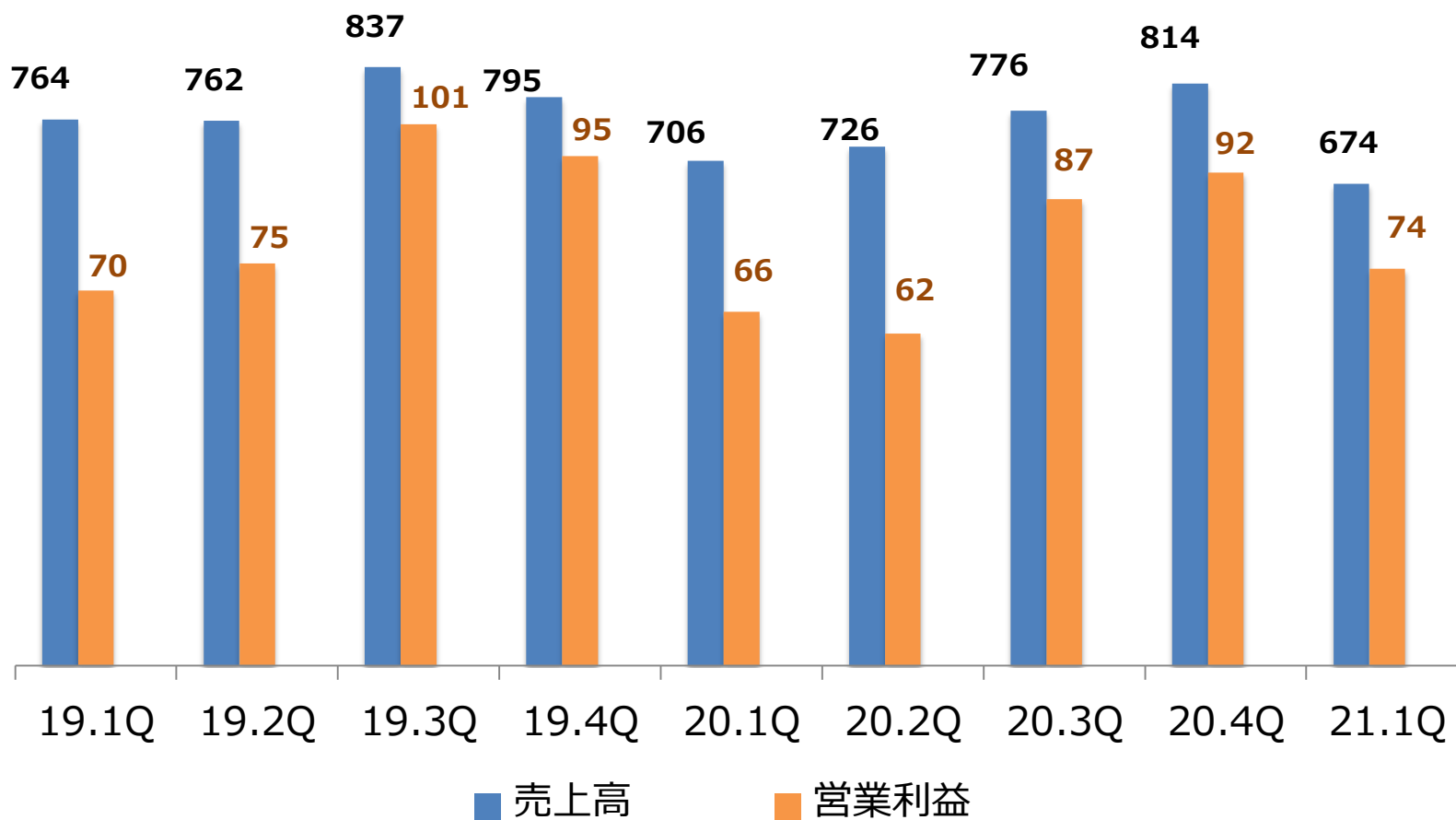


2. 業績推移

連結

四半期

(億円)



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 